

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	食道癌手術での胸骨後細径胃管再建後の残食道、胃管の直線化の工夫
研究責任者	聖隷浜松病院 上部消化管外科 戸松真琴
研究実施体制	【研究責任者】聖隷浜松病院 上部消化管外科 戸松真琴 【研究分担者】聖隷浜松病院 上部消化管外科 鈴木一史
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2024年 12月
対象者	2024年2月から2024年10月に聖隷浜松病院上部消化管外科で食道癌手術をうけた患者さん。
研究の意義・目的	食道癌手術において胸骨後細径胃管再建は一般的な手法です。頸部での吻合後、適度に残食道、胃管を尾側に牽引して直線化することが肝要とされていますが、特別な工夫がされることなく、容易には牽引できません。 当科では胃管挙上に用いたビニル袋を吻合前に除去せず、頸部吻合後にこのビニル袋を尾側に牽引して除去することで残食道、胃管の直線化を行っています。 本手技はどこの施設でも容易に施行できる工夫であり、本手技の術後短期成績を検討し、安全性を示すことで一般化されうると考えられます。
研究の方法	対象患者さんについて、診療録から以下の項目の調査を行います。 手術時間、出血量、術後経口摂取開始期間、術後合併症、術後入院期間
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 上部消化管外科 (氏名)戸松真琴 TEL:053-474-2222(代表) 上部消化管外科外来 9:00~17:00 平日